

分野21 公共交通

基本政策27

安心で円滑に移動ができる

地域公共交通網の充実や近隣自治体との広域的な連携強化を図るなど、市民の移動利便性の向上に努め、誰もが安心して円滑に移動できる交通体系が確立された“まち”を目指します。

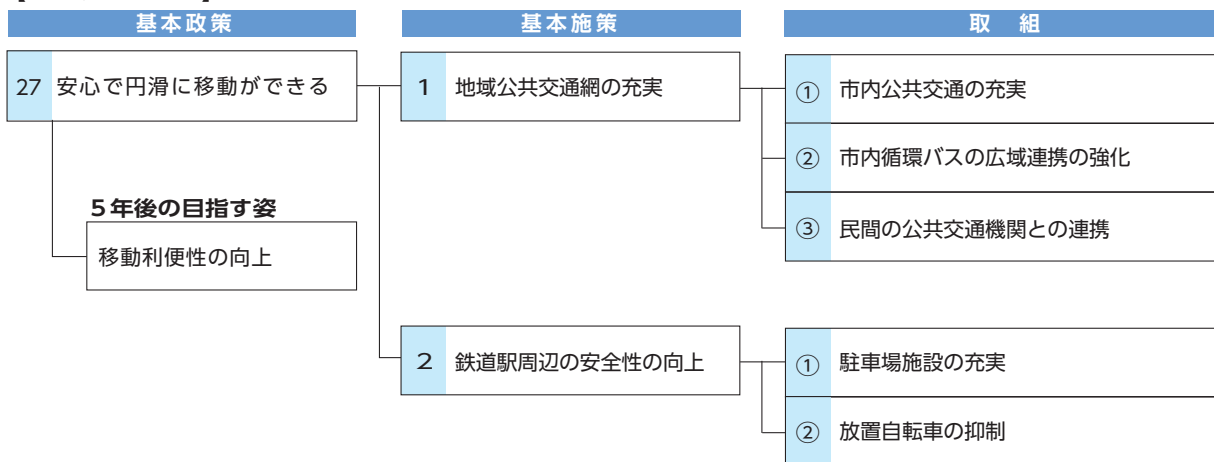
5年後の目指す姿

「移動利便性の向上」

高齢化の進展など、社会情勢の変化や環境問題などの視点も組み入れ、新たな公共交通システムの活用により地域公共交通網を充実させるなど、移動利便性の向上を目指します。

数値目標	現状値	目標値
移動に不便を感じている人の割合 (市民意識調査)	—	25%以下 (R7)

【ロジックモデル】



## 基本施策

### 27-1 地域公共交通網の充実

市内循環バス及びデマンドタクシーの利用状況などを踏まえ、新たな公共交通を研究し、利便性の高い地域公共交通網の形成と充実を目指します。

KPI	指標	現状値	目標値
	市内循環バスの利用者数	170,664 人(R1)	175,000 人(R7)

#### 【主な取組】市内公共交通の充実

市内循環バス及びデマンドタクシーの利用状況を検証し、移動に関する地域性や年代別の特性などを把握することで、新たな市内公共交通の充実の基礎資料とし、移動に不便を感じている人への交通支援策などを検討します。

【KSF】	現状値	目標値
市内循環バス及びデマンドタクシーを含めた市内交通の検証	—	⇒ 実施(R7)

### 27-2 鉄道駅周辺の安全性の向上

放置自転車・違法駐車対策として、駐輪、駐車施設を運営するとともに、駅近隣の店舗や鉄道事業者と協力し、鉄道駅周辺の美観の向上と歩行者などの安全性の向上を図ります。

KPI	指標	現状値	目標値
	放置自転車・違法駐車対策の推進の満足度 (市民意識調査)	59.5% (H30)	65.0% (R7)

#### 【主な取組】放置自転車の抑制

駅周辺における“まち”の美観と歩行者などの安全性を確保するため、放置自転車の撤去や路上に自転車等を放置しないよう、指導や整理などの対策を図り、放置自転車の抑制に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
放置自転車の台数	21,141 台/年 (R1)	⇒ 21,000 台/年 (R7)



## 関連するSDGsゴール



公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、安全かつ容易に利用できる、持続可能な輸送システムを提供していきます。

**関連ターゲット (11-2)**



官民の連携を強化し、地域公共交通の充実や駅周辺の安全確保に向けた取組を進めます。

**関連ターゲット (17-17)**

## 関連計画等

富士見市都市計画マスタープラン（令和3年度～令和22年度）

## 関連部署

健康福祉部 高齢者福祉課、障がい福祉課  
都市整備部 都市計画課  
建設部 道路治水課





富士見市市内循環バス「ふれあい号」



分野22 環境

基本政策28

快適な生活環境で過ごす

環境に配慮した取組を進め、都市と自然との調和を図りながら、市民が将来にわたって快適な生活環境で過ごすことができる“まち”を目指します。

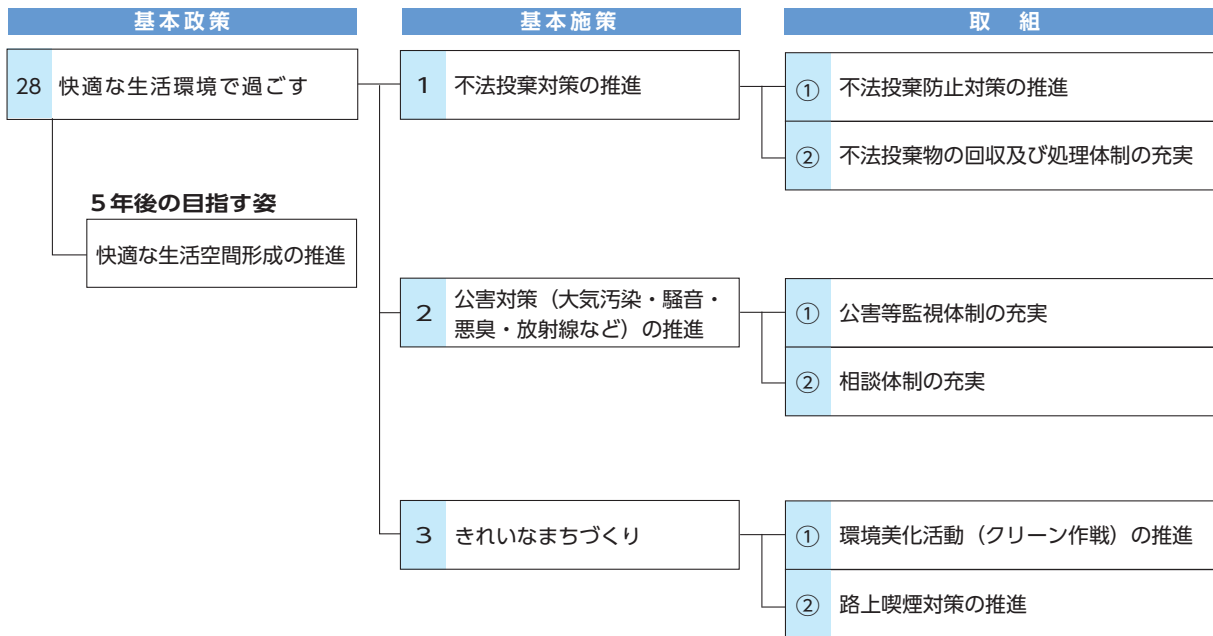
5年後の目指す姿

「快適な生活空間形成の推進」

市民、事業者、行政が一体となって環境の保全、創造に向けた活動に取り組み、将来にわたって住みよい“まち”、快適な生活を送れる“まち”の形成を推進します。

数値目標	現状値	目標値
良好な生活環境の維持	—	維持・向上 (R7) <small>(各基本施策のKPIの全てを達成)</small>

【ロジックモデル】



## 基本施策

### 28-1 不法投棄対策の推進

不法投棄を防止するため、パトロールを行うなど、不法投棄されにくい環境づくりを進めます。

KPI	指標	現状値	目標値
	不法投棄物の削減	20,000kg (H30)	15,000kg (R7)

#### 【主な取組】不法投棄防止対策の推進

クリーンアップ運動<sup>56</sup>などの環境美化活動に取り組み、県や警察と連携した新たな施策の検討など不法投棄防止対策の推進に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
県・警察との連携体制の充実	実施 (R1)	⇒ 継続 (R7)

### 28-2 公害対策（大気汚染・騒音・悪臭・放射線など）の推進

大気環境や河川の水質の監視、測定を行い、その結果を公表するとともに環境状況を把握し、良好な環境を維持していきます。

KPI	指標	現状値	目標値
	環境指標物質（ダイオキシン等）における環境基準の達成	全項目の達成 (R1)	維持 (R7)

#### 【主な取組】公害等監視体制の充実

大気中の二酸化窒素や大気・土壌のダイオキシン類、河川の水質、自動車騒音、空間放射線量などについて毎年測定を行い、その結果を公表し、公害等を監視する体制を充実します。

【KSF】	現状値	目標値
公害分析調査回数	1回/年 (R1)	⇒ 維持 (R7)
放射線量測定回数	6回/年 (R1)	

#### 脚注

56 市内一斉清掃日「富士見市をきれいにする日」を定め、広報活動などを通じ美化活動への参加を広く呼びかけるなど、年間を通じ市全体として美化に取り組む運動



## 28-3 きれいなまちづくり

公共空間における環境美化に取り組むなど、きれいなまちづくりを推進します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	公共空間における環境美化活動の継続 (クリーン作戦 <sup>57</sup> でのごみ回収量)	9,400kg/年(R1)	10,400kg/年(R7)

【主な取組】環境美化活動（クリーン作戦）の推進  
環境美化活動を実施している市民団体や事業者に対して、必要な物品の貸与、提供の支援を行うなど、環境美化活動の推進に取り組みます。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
環境美化活動（クリーン作戦）参加人数	8,000人/年 (R1)	⇒ 8,500人/年 (R7)

### 関連するSDGsゴール



大気や水質、土壌の汚染による環境悪化を監視し、健康な生活を確保します。  
**関連ターゲット (3-9)**



不法投棄の防止のため、関係機関と連携し、パトロールなどによる監視体制を強化します。また、大気、水質及び土壌の汚染や不法投棄を監視し、環境上の悪影響を軽減します。  
**関連ターゲット (11-6)**



大気や水質、土壌の汚染等を監視し、汚染物質を排出している原因者に指導を行います。  
**関連ターゲット (12-4)**



クリーン作戦などによるごみ拾いや水質汚染などを監視し、河川を經由した海洋汚染を防止します。  
**関連ターゲット (14-1)**



湧き水などの自然環境の保全とともに、特定外来生物の駆除を行い、生態系の保持や生物多様性の保全を図ります。  
**関連ターゲット (15-5、15-8)**



快適な生活環境づくりのために、市民、事業者、行政が情報共有、役割分担、連携を行い、共生できるまちづくりを進めます。  
**関連ターゲット (17-16、17-17)**

#### 脚注

57 市民や町会、協力団体と連携し、地域清掃活動の一層の促進を目指した事業



## 関連計画等

第2次富士見市環境基本計画改定版（平成30年度～令和4年度）  
第3次富士見市美化推進計画（令和2年度～令和6年度）

## 関連部署

経済環境部 環境課





分野22 環境

基本政策29

持続可能な生活環境で過ごす

市民が自然からの恵みを楽しみ、自然や地球環境を守りながら、将来にわたり快適な生活を維持するとともに、持続可能な生活環境で過ごすことができる“まち”を目指します。

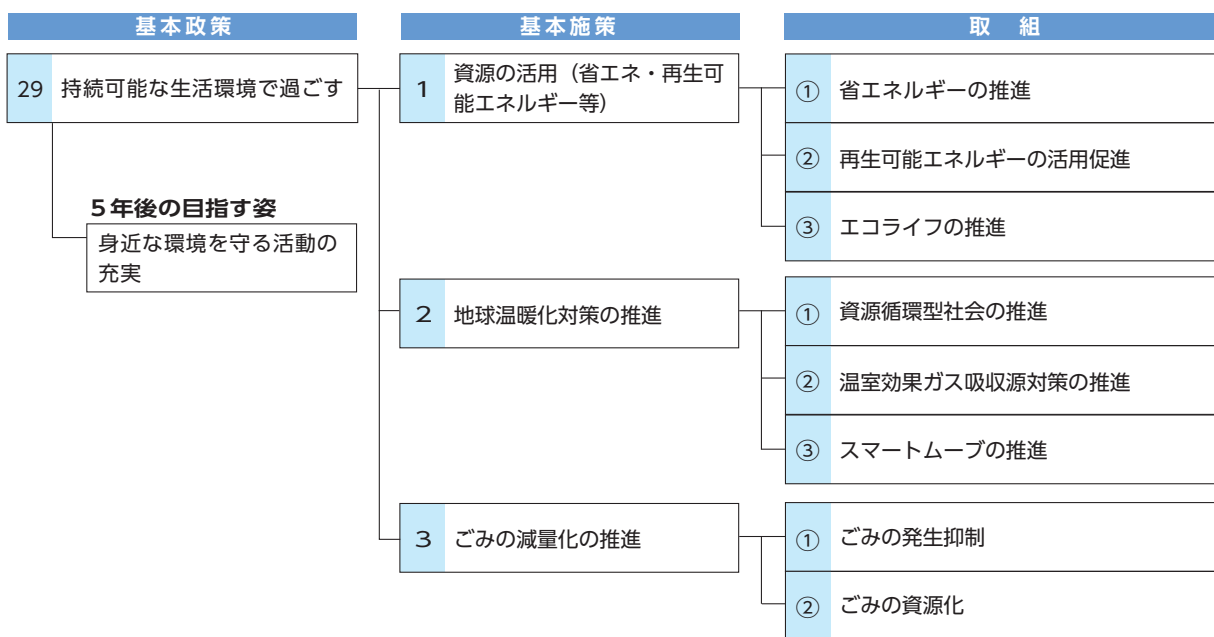
5年後の目指す姿

「身近な環境を守る活動の充実」

省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの導入啓発を行うとともに、ごみをなるべく出さず、できるだけ資源として使い、使えないごみは適切に処分を行うことで、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り減らすなど、身近な環境を守る活動の充実を目指します。

数値目標	現状値	目標値
廃棄物の減量化及び資源の循環利用	—	維持・向上 (R7) <small>(各基本施策のKPIの全てを達成)</small>

【ロジックモデル】



## 基本施策

### 29-1 資源の活用（省エネ・再生可能エネルギー等）

「富士見市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、市民、事業者、行政が一体となって温室効果ガスの削減、再生可能エネルギーの普及など資源の活用を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	温室効果ガスの排出量	412,451t-co <sub>2</sub> (H26)	344,116t-co <sub>2</sub> (R4)

※目標値については、計画期間中に更新予定

#### 【主な取組】再生可能エネルギーの活用促進

分散・循環型エネルギー社会の構築に向け、再生可能エネルギー機器等の設置に対する奨励制度により普及啓発を継続するとともに、多様な再生可能エネルギーの活用を促進します。

【KSF】	現状値	目標値
地球温暖化防止活動支援補助金 <sup>58</sup> 交付件数	66 件 / 年 (R1) ⇒	80 件 / 年 (R7)

### 29-2 地球温暖化対策の推進

温室効果ガスの排出実態と特性を把握し、具体的な削減目標の設定や温室効果ガスの排出抑制、緑の保全などの取組を進め、地球温暖化対策を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	温室効果ガスの排出量（市事務事業）	7,876,366kg-co <sub>2</sub> (H30)	7,394,000kg-co <sub>2</sub> (R3)

※目標値については、計画期間中に更新予定

#### 【主な取組】温室効果ガス吸収源対策の推進

緑の保全に努めるとともに、その大切さを啓発していきます。また、多くの公共施設において、壁面緑化など温室効果ガス吸収源対策の推進に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
公共施設壁面緑化実施施設数	22 施設 (R1) ⇒	32 施設 (R7)

#### 脚注

58 温室効果ガスの排出量削減を図るため、地球温暖化の防止に役立つ機器や車両を導入する方への市の補助金



### 29-3 ごみの減量化の推進

「富士見市一般廃棄物処理基本計画」に基づき廃棄物施策を総合的かつ計画的に推進するとともに、市民、事業者に向けたごみのリサイクルの取組を啓発し、ごみの減量化を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	ごみ総排出量	29,490 t (H30)	28,741t (R7) ※次期計画で再設定

【主な取組】ごみの発生抑制 4R <sup>59</sup> の普及啓発を図り、食品ロスやプラスチックなどのごみの発生抑制に取り組みます。			
	【KSF】	現状値	目標値
	1人1日当たりのごみの排出量	728 g (H30)	709 g (R7) ※次期計画で再設定

## 関連するSDGsゴール



再生可能エネルギー機器等の設置に対する奨励制度の普及啓発を継続することで、再生可能エネルギーの活用を促進します。 **関連ターゲット (7-2)**



廃棄物の発生抑制、削減、再生利用、再利用により、ごみの減量化・資源化を推進します。 **関連ターゲット (12-3、12-5)**



気候変動に対する早期警戒に関する啓発に取り組むため、市民、事業者に対し、壁面緑化の有効性を広く周知します。 **関連ターゲット (13-3)**



不法投棄されるプラスチックごみを削減することにより、河川を経由した海洋汚染を防止します。 **関連ターゲット (14-1)**



緑の保全の重要性を普及啓発することで、将来にわたり保存樹林等が保全されるよう努めます。 **関連ターゲット (15-1、15-2)**



ごみの減量化・資源化を推進するため、市民、事業者、行政のパートナーシップを構築していきます。 **関連ターゲット (17-16、17-17)**

脚注

59 1. リフューズ(ごみの発生回避) 2. リデュース(ごみの排出抑制) 3. リユース(再利用) 4. リサイクル(再資源化)の4つに取り組み、ごみを減らす運動



## 関連計画等

第2次富士見市環境基本計画改定版（平成30年度～令和4年度）

第3次富士見市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（平成29年度～令和3年度）

富士見市一般廃棄物処理基本計画第3次計画（令和3年度～令和12年度）

## 関連部署

経済環境部 環境課



分野23 公園・緑

基本政策30

人が集う(ふれあう)場が確保されている

心のやすらぎを感じられ、人と人との集い、ふれあえる場として活用できる公園・緑地が確保されている“まち”を目指します。

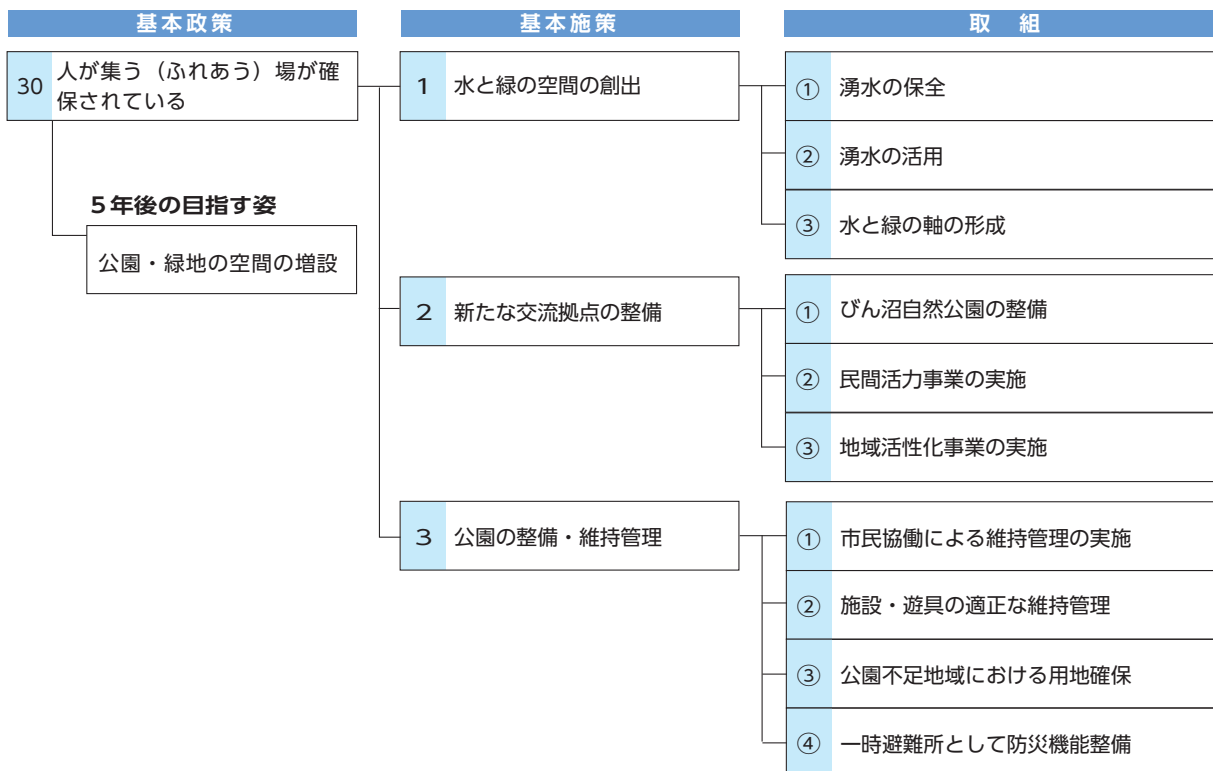
5年後の目指す姿

「公園・緑地の空間の増設」

子育て世帯をはじめとした多くの人たちが、心のやすらぎを感じられるよう、特色ある公園の維持、発展や緑地の整備など、公園・緑地の空間の増設を目指します。

数値目標	現状値	目標値
公園の整備・緑化の推進に対する満足度 (市民意識調査)	63.1% (H30)	66.0% (R7)

【ロジックモデル】



## 基本施策

### 30-1 水と緑の空間の創出

本市の貴重な自然環境を次世代につなぎ、観光資源として地域の活性化を促進するため、自然豊かな環境を保全し、憩いの場として活用できる水と緑の空間を創出します。

KPI	指標	現状値	目標値
	湧水と緑の回廊整備箇所	—	1ヶ所(R7)

#### 【主な取組】湧水の活用

湧水と緑地が特に多く点在する富士見江川沿いの湧水地などを保全し、市民が気軽にふれあえ、自然と歴史の学びの場となる地域資源として活用していきます。

【KSF】	現状値	目標値
自然学習会の実施回数	—	⇒ 1回/年(R7) ※回廊整備後実施予定

### 30-2 新たな交流拠点の整備

すべての世代が憩い、楽しめる空間形成を目指し、「水辺空間の活用・創出」、「自然を活用した体験の場の創出」、「地域の魅力向上・活性化」を基本的な考えとした、新たな交流拠点の整備を進めます。

KPI	指標	現状値	目標値
	びん沼自然公園の来場者数	—	50,000人/年

#### 【主な取組】びん沼自然公園の整備

豊かな自然の中での活動を促進するパークゴルフ場の整備、公園のシンボルとなる展望台など、地域や企業などとも連携しながら魅力あるびん沼自然公園の整備に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
びん沼自然公園の整備の完了	—	⇒ 整備完了 (令和3年度末)



### 30-3 公園の整備・維持管理

公園不足地域における公園用地の確保や、誰もが安全安心に公園の利用ができるよう、市民とともに防災面などにも配慮した適切な公園の整備と維持管理を進めていきます。

	指標	現状値	目標値
KPI	住民一人当たりの公園面積	3.68 m <sup>2</sup> / 人(R1)	3.74 m <sup>2</sup> / 人(R7)

**【主な取組】施設・遊具の適正な維持管理**

誰もが安全で安心して公園を利用できるように、施設・遊具の安全点検実施の充実を図り、適正に維持管理を行います。

【KSF】	現状値	目標値
施設保守点検の実施	実施(R1)	⇒ 継続(R7)

## 関連するSDGsゴール



身近な自然である湧水などを保全することで、環境破壊等、環境上の悪影響を軽減させ、次世代にこの自然をつないでいきます。

**関連ターゲット (11-4、11-6)**



身近な自然である湧水などを、市民が気軽に触れることのできるものとして活用するとともに、次世代へこの貴重な自然を引き継いでいきます。

**関連ターゲット (12-8)**



生物多様性と生態系を保全しながら、自然と調和した新たな交流拠点となるよう、びん沼自然公園の整備を進めます。

**関連ターゲット (15-a)**



## 関連計画等

富士見市都市計画マスタープラン（令和3年度～令和22年度）

## 関連部署

都市整備部 都市計画課、まちづくり推進課





分野23 公園・緑

基本政策31

豊富な緑の中で生活ができる

本市の貴重な財産である自然環境・景観を、次世代に継承するため、緑の保全に努めるとともに、新たな緑の創出を進めることで、多くの人々が訪れ、親しみ、憩い、交流できる空間を確保し、豊富な緑の中での生活ができる“まち”を目指します。

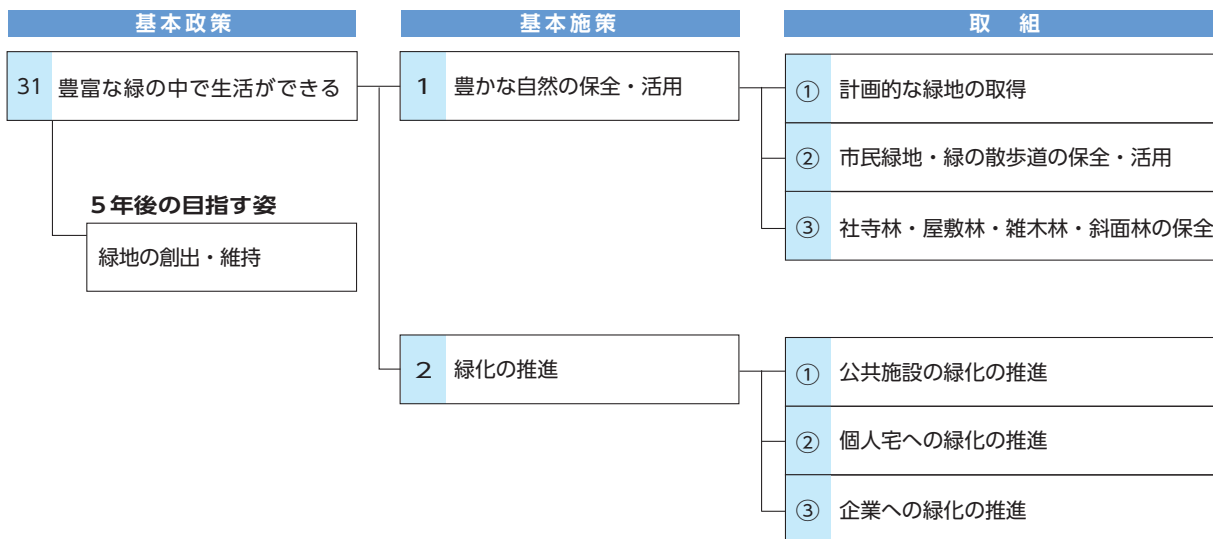
5年後の目指す姿

「緑地の創出・維持」

まちと自然の共存を実現し、斜面林、屋敷林、湧水などを貴重な財産として、後世に引き継げるよう緑地を適切に維持し、新たな緑地の創出を目指します。

数値目標	現状値	目標値
市内の緑地面積 <sup>60</sup>	68,101.1 m <sup>2</sup> (R1)	88,101.1 m <sup>2</sup> (R7)

【ロジックモデル】



脚注

60 保存樹林・市民緑地・緑の散歩道の面積の合計



## 基本施策

### 31-1 豊かな自然の保全・活用

緑地保全基金<sup>61</sup>、市民緑地、緑の散歩道の制度により、市民が身近に緑と親しめる豊かな自然の保全や活用を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	保全できた緑地面積	68,101.1 m <sup>2</sup> (R1)	維持(R7)

【主な取組】計画的な緑地の取得

緑地保全基金の充実を図り、計画的に緑地を取得していきます。

【KSF】	現状値	目標値
公有地化する緑地面積	—	⇒ +2,839 m <sup>2</sup> (R7)

### 31-2 緑化の推進

緑豊かな市の魅力を維持、向上していくため、公共施設や個人宅、企業の緑化を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	緑地面積	—	+20,000 m <sup>2</sup> (R7)

【主な取組】公共施設の緑化の推進

緑豊かな自然環境、景観を市が率先して維持向上していくため、道路、駅周辺、公園、学校などの公共施設の緑化に継続して取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
公共施設の緑化	—	⇒ 継続(R7)

#### 脚注

61 市内に残されている貴重な樹林や緑地を保全目的として取得するための基金



## 関連するSDGsゴール



貴重な自然の保全に努め、本市の貴重な財産として、次世代にこの豊かな自然環境を引き継いでいきます。 **関連ターゲット（11-4、11-6）**



市民が身近に緑に親しめる環境をつくり、自然と調和したライフスタイルを確立します。 **関連ターゲット（12-8）**



緑地の保全、活用を進めるとともに、緑化の推進、新たな緑地を創出し、緑と自然豊かなまちづくりを進めます。 **関連ターゲット（15-2）**

## 関連計画等

富士見市都市計画マスタープラン（令和3年度～令和22年度）

## 関連部署

都市整備部 都市計画課





緑の散歩道「関沢」



分野24 住環境

基本政策32 良好な住環境のもとで生活ができる

市民一人ひとりが良好な住環境のもとで、安全安心かつ快適な生活ができていると実感できる“まち”を目指します。

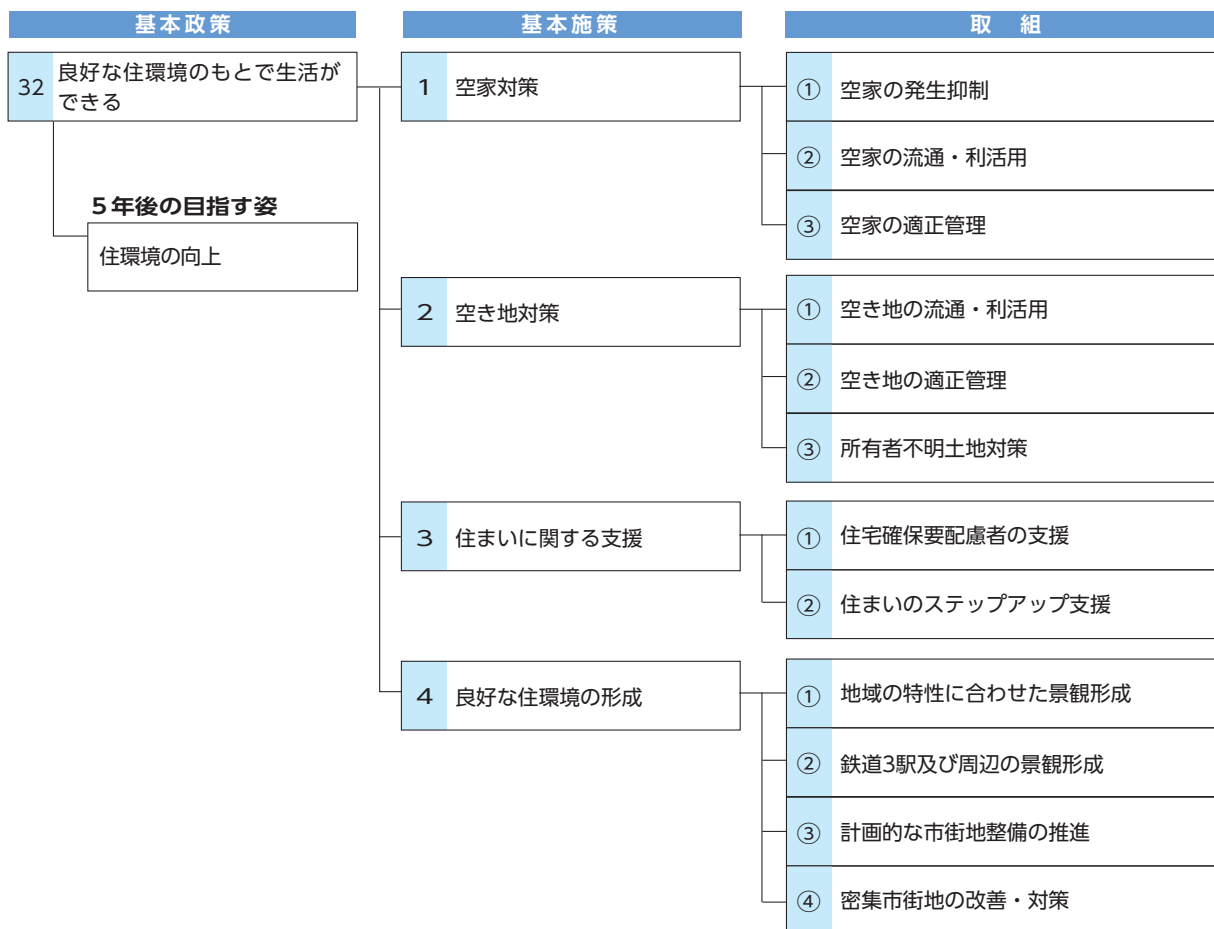
5年後の目指す姿

「住環境の向上」

住まいに関する課題の改善が図られ、住みやすさが向上するとともに、市民が日常生活を送るうえで、住み続けたいと感じることができるよう、住環境の向上を目指します。

数値目標	現状値	目標値
「住み続けたい」の割合（市民意識調査）	77.4%（H30）	83.1%（R7）

【ロジックモデル】



## 基本施策

### 32-1 空家対策

放置されている空家が及ぼす様々な影響は、地域における今後の重要な課題となることが予想されるため、市民の生活環境の保全と安全安心なまちづくりに向け、「発生抑制」、「流通・利活用」、「適正管理」の観点から、空家対策を総合的かつ計画的に推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	その他の空家 <sup>62</sup> 件数（住宅・土地統計調査）	2,073戸(R7) （将来予測値）	1,970戸(R7) （将来予測値から5%減少させる）

#### 【主な取組】空家の発生抑制

空家に関する相談体制を充実させるとともに、空家の発生抑制に向けた周知啓発、空家の実態把握やデータベース管理を行い、空家の発生抑制に取り組みます。

	【KSF】	現状値	目標値
	空家データベース登録件数	650件(R1)	⇒ 899件(R7)

### 32-2 空き地対策

適正に管理されていない空き地や活用されていない空き地、全国的に問題となっている所有者不明土地の適正管理や有効活用を図るなど、空き地対策を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	空き地に係る苦情相談件数	11件/年(R1)	4件/年(R7)

#### 【主な取組】空き地の流通・利活用

空き地の流通・利活用に係る相談体制や空き地バンク制度を整備するとともに、空き地の寄附受入れ制度や所有者不明土地の実態把握と活用に向けた研究を進めます。

	【KSF】	現状値	目標値
	空き地所有者からの相談件数	—	⇒ 1件以上/年(R7)

#### 脚注

62 住宅・土地統計調査における空家のうち、賃貸・売却用、別荘等を除いたもの



### 32-3 住まいに関する支援

各世帯の状況や希望に応じた住まいの実現のため、居住支援や住宅取得等に係る支援など、住まいに関する支援を推進します。

KPI	指 標	現 状 値	目 標 値
	“住みやすさ”の市民満足度（市民意識調査）	52.9% (H30)	55.0% (R7)

【主な取組】住宅確保要配慮者<sup>63</sup>の支援

埼玉県住まい安心支援ネットワーク<sup>64</sup>への参画を通して、最新の居住支援情報の周知やセーフティネット住宅<sup>65</sup>の登録促進に取り組むとともに、住宅確保要配慮者が安心して居住できるための支援策の研究を進めます。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
あんしん賃貸住まいサポート店 <sup>66</sup> の斡旋件数	— ⇒	25件(R7)

### 32-4 良好な住環境の形成

災害に強いまちづくりを基本とした計画的な市街地整備を推進し、地域の特性に応じた景観形成等を行うことで、ゆとりと潤いのある良好な住環境の形成を図ります。

KPI	指 標	現 状 値	目 標 値
	“住みやすさ”の市民満足度（市民意識調査）	52.9% (H30)	55.0% (R7)

【主な取組】計画的な市街地整備の推進

土地区画整理事業により、良好な住環境と災害に強い安全安心な市街地整備に取り組めます。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
土地区画整理事業の完了地区数	0地区(R1) ⇒	3地区(R7)

脚注

- 63 低額所得者、被災者、高齢者、障がい者、子育て世帯など、住宅の確保に特に配慮を必要とする市民
- 64 住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を推進する埼玉県や県内市町村、居住支援団体などで構成するネットワーク
- 65 「住宅セーフティネット制度」に基づき登録された住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅
- 66 高齢者世帯、障がい者世帯、外国人世帯、子育て世帯などの住まい探しを支援する不動産仲介業者



## 関連するSDGsゴール



ハード・ソフト両面からすべての市民にとって良好な住環境の整備を推進し、適切で安全かつ持続可能な地域の実現を目指します。

関連ターゲット（11-1、11-3）



民間事業者や地域住民の専門性・経験・知識等を積極的に活用し、効果的な事業の実施に努めるなど、官民等のパートナーシップを推進します。

関連ターゲット（17-17）

## 関連計画等

富士見市都市計画マスタープラン（令和3年度～令和22年度）

富士見市空家等対策計画（平成30年度～令和4年度）

## 関連部署

協働推進部 協働推進課

経済環境部 環境課

都市整備部 都市計画課、まちづくり推進課

建設部 建築指導課





分野25 商工

基本政策33 楽しく、便利に市内で買物ができる

多様化する消費者ニーズなどに対応するため、新しい商業者を育て、創意工夫による魅力づくりに取り組む“頑張る個店”を応援することで、市内で買物が楽しく、便利にできる“まち”を目指します。

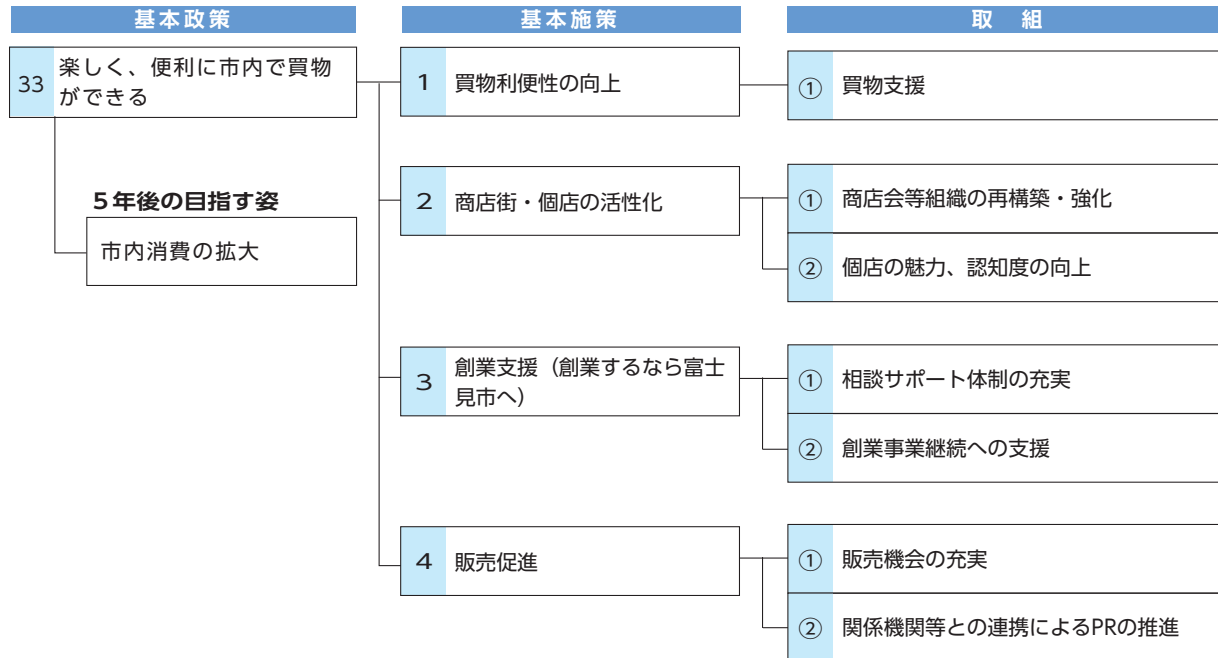
5年後の目指す姿

「市内消費の拡大」

市内だけで必要な買物を済ませることができる環境づくりや、魅力ある商店づくりなどに取り組み、市内消費の拡大を目指します。

数値目標	現状値	目標値
市内消費の割合（食料品・日用雑貨等） （埼玉県広域消費動向調査）	69.2%（R1）	75.0%（R7）

【ロジックモデル】



## 基本施策

### 33-1 買物利便性の向上

楽しく、便利に買物ができるように、社会情勢の変化に合わせ、市民の買物利便性の向上を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	近くの店舗や商店街の利用頻度が増加している人の割合（商業活性化ビジョンアンケート）	7.1% (R1)	12.4% (R7)

#### 【主な取組】買物支援

地域ごとに、商業者、農業者、工業者が連携し、消費者と顔の見える関係をつくる地域版ふじみマーケットや、買物ができない、または買物が不自由な高齢者や乳幼児のいる家庭等に対し、商店街が実施する移動販売、販売代行のサービスなど、商業者が地域に出向き、楽しく買物ができるための取組を支援します。

【KSF】	現状値	目標値
買物支援策の実施事業数	—	⇒ 1事業以上 (R7)

### 33-2 商店街・個店の活性化

暮らしを支える買物の場、地域コミュニティをつくり出す場としての役割を担うよう、商店街や個店の活性化を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	小売業の事業所数（経済センサス）	537 事業所 (H28)	550 事業所 (R7)

#### 【主な取組】商店会等組織の再構築・強化

地域の賑わいや認知度の向上、消費の拡大を目指す商店会等が実施するイベントへの支援など、組織の再構築、強化に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
組織強化に取り組んだ商店会数（実績）	2 商店会 (R1)	⇒ 4 商店会 (R7)



### 33-3 創業支援（創業するなら富士見市へ）

次代を担う若者や女性、シニア等が創業に挑戦しやすい環境を整え、育成します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	支援した事業所の満足度 (支援事業所アンケート (仮))	—	75%以上(R7)

【主な取組】相談・サポート体制の充実

創業支援セミナーの開催と併せ、創業事業計画の作成や各種申請等、創業に向けた具体的なアドバイス、指導の場として、専門家（中小企業診断士等）による相談窓口を開設します。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
創業相談窓口での相談件数	—	⇒ 24件/年(R7)

### 33-4 販売促進

利益の向上、持続可能な商業振興を進めるため、消費者に対し、商品やサービスの購買意欲を高める働きかけを行うなど、販売促進を図ります。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	小売業の年間販売額（経済センサス）	86,981 百万円 (R1)	89,087 百万円 (R7)

【主な取組】関係機関等との連携によるPRの推進

ららぽーと富士見店舗内でのPR活動やイベントの実施など、関係機関等との連携によるPRの推進に取り組みます。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
いい富士見の日（毎年11月23日）参加店舗	107店舗(R1)	⇒ 110店舗(R7)



## 関連するSDGsゴール



次代を担う若者や、女性、シニア等が、創業に挑戦しやすい環境を整備するなど、積極的な支援に取り組みます。 **関連ターゲット (8-1)**



産業振興基金を活用した支援などにより付加価値創造を促進し、多様で魅力ある個店の増加に向けて取り組みます。 **関連ターゲット (9-b)**



消費者ニーズを捉えた魅力ある個店を増やすとともに、市内消費の促進のための支援に取り組みます。 **関連ターゲット (12-a)**

## 関連計画等

富士見市第3次商業活性化ビジョン（令和3年度～令和7年度）

## 関連部署

経済環境部 産業経済課



分野25 商工

基本政策34

地域経済が潤ったまちで生活できる

産業の振興を進め、地域内での活発な循環型経済を確立させることにより、市民が地域経済の潤った“まち”で生活できることを目指します。

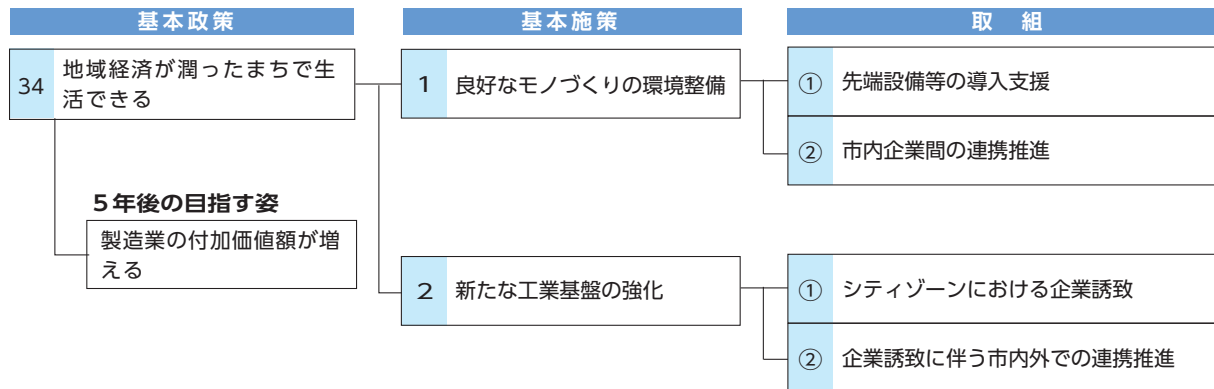
5年後の目指す姿

「製造業の付加価値額が増える」

企業の強みを活かすとともに、コスト削減や生産性の向上などにより、製造業の付加価値額の増加を目指します。

数値目標	現状値	目標値
市税全体における法人市民税の構成比	4.3% (H30)	4.5% (R7)

【ロジックモデル】



## 基本施策

### 34-1 良好なモノづくりの環境整備

工業の振興のため、農商工連携強化や市内企業間の交流促進、産業振興基金を活用した支援など、良好なモノづくりの環境整備を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	製造業の事業所数（経済センサス）	154 事業所 (R1)	160 事業所 (R7)

#### 【主な取組】先端設備等の導入支援

生産性の向上や良好なモノづくりの環境整備のため、先端設備等の導入支援に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
先端設備等導入計画の認定数（累計）	5 件 (R1)	⇒ 7 件 (R7)

### 34-2 新たな工業基盤の強化

良好な経済循環構造の構築を目指し、付加価値の向上、地域の活性化や雇用の促進が期待できる産業の創出など、新たな工業基盤の強化を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	工業立地法における特定工場 <sup>67</sup> 数	3 事業所 (R1)	6 事業所 (R7)

#### 【主な取組】シティゾーンにおける企業誘致

交通利便性の高い立地環境を活かし、埼玉県企業局と共同でシティゾーンにおける企業誘致を進め、産業団地の整備に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
企業誘致の実現	—	⇒ 産業団地の整備

#### 脚注

67 製造業等における一定規模以上の工場。敷地面積に対する緑地面積20%以上など、適合しなければならない要件がある。



## 関連するSDGsゴール



シティゾーンにおける企業誘致により、新たな雇用の場の創出に取り組むことで、職住近接による就労環境づくりに取り組めます。

関連ターゲット (8-5、8-8)



包摂的な産業化を進めることで、循環型地域経済を確立することにより、持続可能かつ強靱（レジリエント）な環境づくりに取り組めます。

関連ターゲット (9-1)

## 関連計画等

富士見市第3次商業活性化ビジョン（令和3年度～令和7年度）

## 関連部署

経済環境部 産業経済課  
都市整備部 まちづくり推進課





シティゾーン(Bゾーン)





分野26 農業

基本政策35

安心して農業が行える

生産地と消費地が隣り合う、都市近郊の利点などを生かし、持続可能な“農業”の実現と多面的機能を生かした“農地”の保全との両面から、環境整備を推進し、安心して農業を行うことができる“まち”を目指します。

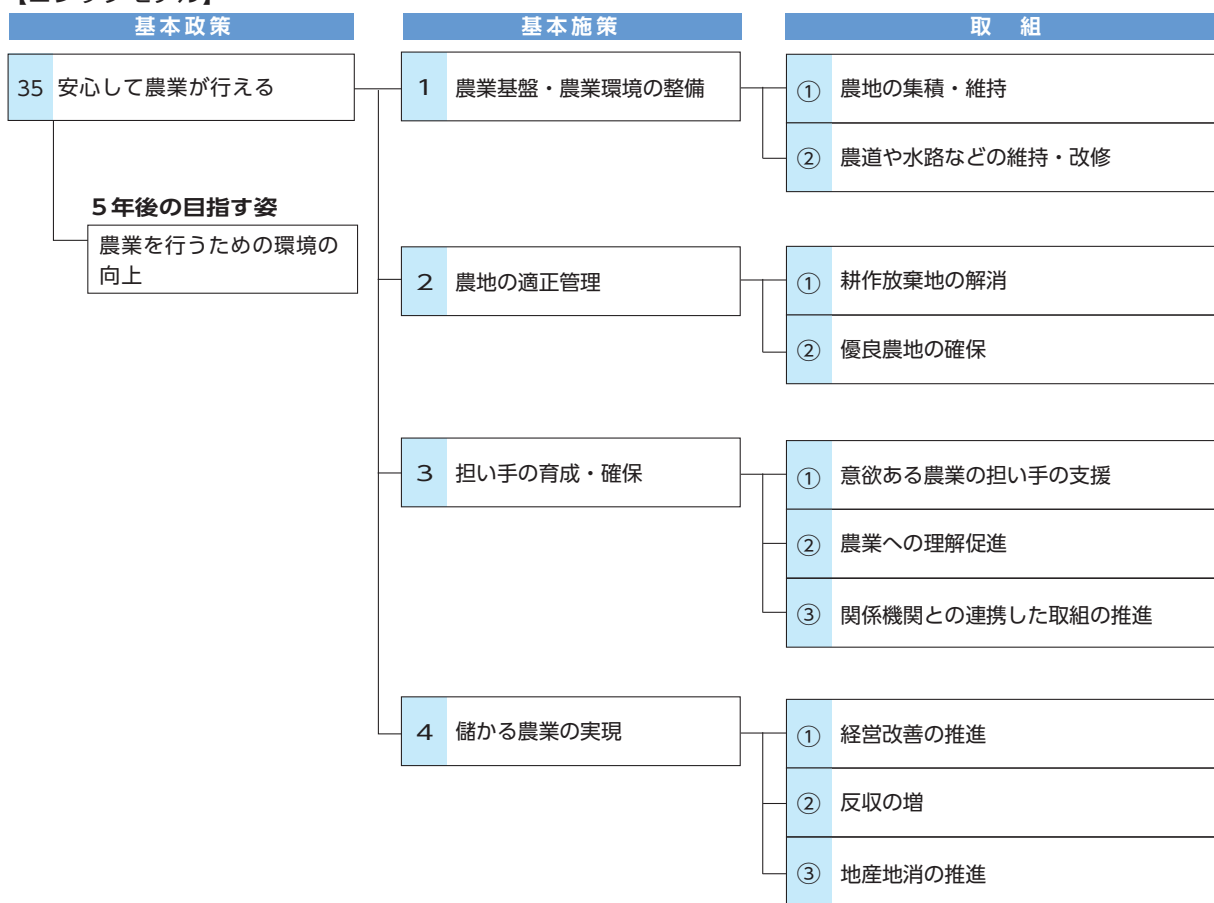
5年後の目指す姿

「農業を行うための環境の向上」

優良農地の保全を図り、生産技術の向上と安定した経営基盤づくりを進め、新規就農者を含めた農業の担い手が安心して農業を継続できるよう、農業環境の向上を目指します。

数値目標	現状値	目標値
人・農地プラン <sup>68</sup> 対象面積	49ha (R1)	64ha (R7)

【ロジックモデル】



脚注

68 農業者が話し合いに基づき、地域農業における中心経営体、地域における農業の将来の在り方などを明確化し、公表したもの



## 基本施策

### 35-1 農業基盤・農業環境の整備

将来にわたっての農業振興策を見据えた優良農地の確保や、農地中間管理事業<sup>69</sup>を活用した利用集積等による経営規模の拡大、農業集落における道路や水路の改修など、農業基盤・農業環境の整備を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	農地中間管理事業実施面積	約 8.8ha (R1)	12ha (R7)

#### 【主な取組】農地の集積・維持

将来にわたって農業を継続できる環境を整備するため、農地の集積・維持に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
農地耕作条件改善事業 <sup>70</sup> 実施地区数	1地区 (R1) ⇒	2地区 (R7)

### 35-2 農地の適正管理

食の生産基盤を守り、良好な周辺環境を維持するため、関係者、関係団体とともに、農地の適正管理を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	耕作放棄地面積	6.2ha (R1)	維持 (R7)

#### 【主な取組】耕作放棄地の解消

農業従事者の高齢化や後継者不足などの課題に対し、将来にわたって農業を継続することができるよう、耕作放棄地の解消に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
耕作放棄地解消に向けた農業委員会と連携したパトロール回数	3回/年 (R1) ⇒	5回/年 (R7)

#### 脚注

69 農地中間管理機構が所有者から農地を借受け、認定農業者等がまとまりのある形で農地を利用できるように配慮して貸付ける事業

70 区画拡大などを実施するとともに、高収益作物への転換に必要な取組をハードとソフトを組み合わせ一括支援する事業



### 35-3 担い手の育成・確保

関係機関と連携し、営農指導など認定農業者<sup>71</sup>の育成を推進します。また、農業後継者や新規就農希望者の不足を解消するため、県や農業関係団体などと連携し、定年帰農者、女性農業者、農福連携<sup>72</sup>による農業者など、多様な担い手の確保を推進します。

KPI	指 標	現 状 値	目 標 値
	新規就農者数（年度単位）	—	毎年度+1名以上

**【主な取組】** 意欲ある農業の担い手の支援

農業経営を改善し、認定農業者・認定新規就農者を増やすとともに、経営規模の拡大、良質な農産物のブランド化を目指し、農業機械、資材等の購入支援など、意欲ある農業の担い手の支援に取り組みます。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
認定農業者数	33 経営体 (R1)	⇒ 40 経営体 (R7)

### 35-4 儲かる農業の実現

生産性の向上や付加価値の向上、販路開拓など、意欲ある経営体（農家）の新たな取組や工夫を関係団体とともに支援し、収益性の高い経営モデルを確立することで、儲かる農業の実現を目指します。

KPI	指 標	現 状 値	目 標 値
	経営耕地面積	510ha (R1)	維持 (R7)

**【主な取組】** 経営改善の推進

担い手の高齢化などによる農業労働力不足について、ICT技術の利用による、省力化や精密化、高品質生産の実現を目指す「スマート農業」を活用し、新規就農者の確保や栽培技術力の継承など経営改善の推進に取り組みます。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
経営改善を行う農家への支援	—	⇒ 実施 (R7)

脚注

71 農業経営規模の拡大、経営の合理化などの経営改善計画を作成し、市が認定した農業経営者などのこと

72 障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組



## 関連するSDGsゴール



食の生産基盤である農業を守るとともに、生産性の向上や付加価値の向上など、儲かる農業の実現に取り組みます。 **関連ターゲット (2-1、2-3)**



ICT技術の利用による「スマート農業」の実現を支援し、持続可能で効率的な農業経営となるよう取り組みます。 **関連ターゲット (12-a)**

## 関連計画等

農業振興地域整備計画（令和2年度～）

## 関連部署

健康福祉部 障がい福祉課、健康増進センター  
 経済環境部 産業経済課、農業振興課  
 都市整備部 都市計画課  
 教育部 学校給食センター  
 農業委員会



分野27 就労

基本政策36

多様な働き方の実現

少子高齢化に伴う労働力の減少、雇用形態の多様化に対応するため、労働生産性の向上と個人のワーク・ライフ・バランスの両立に取り組み、多様な働き方が実現できる“まち”を目指します。

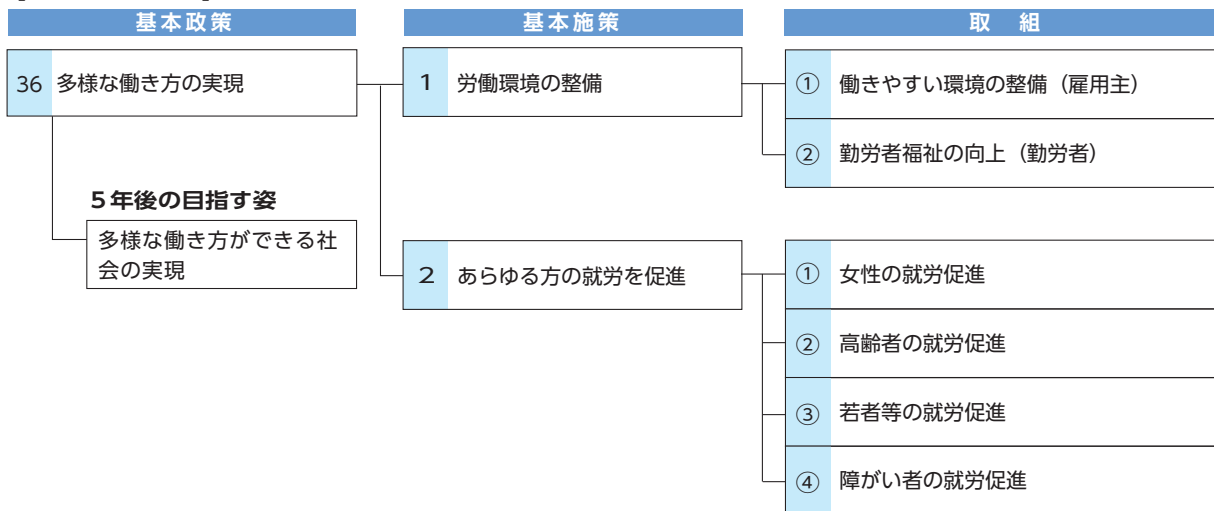
5年後の目指す姿

「多様な働き方ができる社会の実現」

労働生産性の向上を目指し、働く時間や場所によらない柔軟な働き方の導入、ワーク・ライフ・バランスの促進など、多様な働き方ができる社会の構築を目指します。

数 値 目 標	現 状 値	目 標 値
就業者数（国勢調査）	52,330 人（H27）	54,100 人（R7）

【ロジックモデル】



## 基本施策

### 36-1 労働環境の整備

長時間労働の抑制、勤労者の安全、健康の確保など、ワーク・ライフ・バランスの促進のため、国や県等と連携し、労働環境の整備を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	働き方改革に関する取組モデル事業所数（埼玉県）	0事業所（R1）	3事業所（R7）

【主な取組】働きやすい環境の整備（雇用主）

働き方改革に関し、事業所への啓発や先端設備導入などに対して支援することで、働きやすい環境を整備できるよう支援します。

【KSF】	現状値	目標値
働き方改革に関する取組に対する支援事業所数	0事業所（R1）	⇒ 3事業所（R7）

### 36-2 あらゆる方の就労を促進

国や県等と連携し、情報提供や就労相談体制を充実することで、あらゆる方の就労を促進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	ふるさとハローワーク <sup>73</sup> における就職率	19.5%（R1）	25.0%（R7）

【主な取組】女性・高齢者の就労促進

雇用の安定や雇用情勢、就労形態の多様化などに対応するため、国、県の機関や広域的連携によるセミナーを開催し、女性や高齢者の就労促進に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
女性のセミナー参加率	60.0%（R1）	⇒ 70.0%（R7）
高齢者のセミナー参加率	55.0%（R1）	⇒ 60.0%（R7）

【主な取組】若者等・障がい者の就労促進

雇用の安定や雇用情勢、就労形態の多様化などに対応しながら、誰もが安心して働くことのできる社会を目指し、ハローワークと連携した就職面接会の開催などに取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
新規学卒 <sup>74</sup> ・若者就職面接会の参加事業所数	159事業所（R1）	⇒ 170事業所（R7）
障がい者就職面接会の参加者数	延べ126名（R1）	⇒ 延べ150名（R7）

脚注

73 ハローワークが設置されていない市町村で、国と市町村の共同運営により、職業相談・職業紹介などを行う機関

74 主に大学を卒業している方を指す言葉で、4年制大学や短期大学を卒業している市民



## 関連するSDGsゴール



女性の就労促進に取り組み、女性の活躍を原動力とした成長を促すとともに、その力を十分に発揮できる環境づくりに取り組みます。

**関連ターゲット (5-1、5-5、5-a)**



若者や障がい者を含むあらゆる市民が安定的な雇用のもと、働きがいを感じられるよう、労働環境の整備に取り組みます。

**関連ターゲット (8-5、8-6、8-8)**



多様な働き方の推進などにより、あらゆる方の能力発揮が十分になされるとともに、働き方改革などを推進し、持続可能な労働生産性の確保に取り組みます。

**関連ターゲット (10-1、10-2、10-3)**

## 関連計画等

導入促進基本計画<sup>75</sup> (平成30年度～令和3年度)

## 関連部署

協働推進部 人権・市民相談課  
 健康福祉部 障がい福祉課  
 経済環境部 産業経済課

### 脚注

75 生産性向上特別措置法に基づき、中小企業者による先端的な技術を活用した設備等の導入を促進し、生産性の向上に資することを目的として作成した計画







分野28 シティプロモーション

基本政策37 富士見市のファンが増え、賑わいが生まれる

市民がいつまでも「住み続けたい」と思えるようなまちづくりを進め、市への愛着が醸成されるとともに、市の魅力を積極的に発信し、市外からは「行ってみたいまち」、「住んでみたいまち」として、富士見市のファンが増加することにより、新たな賑わいが創出される“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

「市民の市への愛着が深まる」

地域資源の活用による魅力向上とイベントなどの充実により、「ふるさと富士見市」への愛着の醸成を目指します。

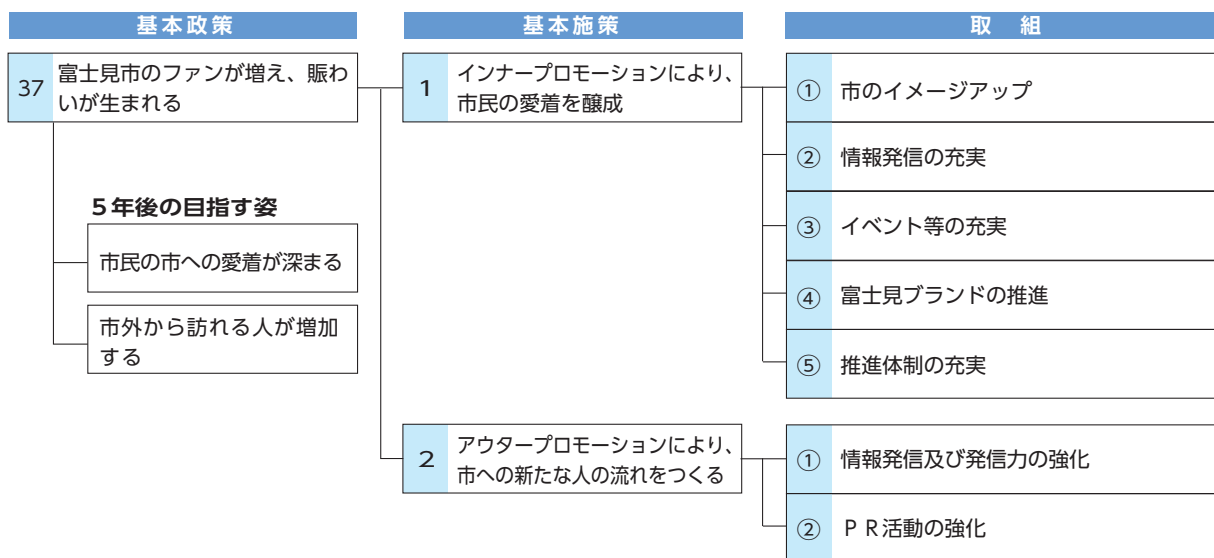
数値目標	現状値	目標値
「市に愛着を持っている人」の割合 (web アンケート)	82.5% (R2)	90.0% (R7)

「市外から訪れる人が増加する」

市外に向けた効果的な情報発信により、市への新たな人の流れを創出します。

数値目標	現状値	目標値
休日の滞在人口 <sup>76</sup> (RESAS 地域経済分析システム <sup>77</sup> )	85,643 人 (R1)	88,000 人以上 (R7)

【ロジックモデル】



脚注

76 休日の指定時間（14時）に富士見市に滞在していた人数（4月の平均値）

77 産業構造や人口動態、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し、可視化するシステム



## 基本施策

### 37-1 インナープロモーション<sup>78</sup>により、市民の愛着を醸成

市民がいつまでも「住み続けたい」と思えるよう、住みやすいまちづくりを進めるとともに、地域資源の活用による情報発信や各種イベントなどを通じた愛着の醸成を図ります。

KPI	指標	現状値	目標値
	「住み続けたい」と回答した割合（市民意識調査）	77.4% (H30)	83.1% (R7)

【主な取組】市のイメージアップ

地域資源を活用したまちづくりにより、市の魅力向上に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
新たな資源の創出件数	—	⇒ 1件以上 (R7)

### 37-2 アウタープロモーション<sup>79</sup>により、市への新たな人の流れをつくる

市の認知度向上と市外からの新たな人の流れをつくるため、地域資源の活用によるPR活動や新たな広告媒体を活用した情報発信により、交流人口<sup>80</sup>や関係人口<sup>81</sup>の創出を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	市の認知度（地域ブランド調査）	456位 (R1)	向上 (R7)

【主な取組】情報発信及び発信力の強化

市外に向けて効果的な情報発信を行うため、マス広告（新聞・雑誌・テレビ・ラジオ）やセールスプロモーション広告（デジタルサイネージ<sup>82</sup>、交通広告など）、インターネット広告などを活用するとともに、市職員への研修等を通じて発信力強化に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
市ホームページの年間閲覧件数	1,391,518件 (R1)	⇒ 1,470,000件 (R7)

#### 脚注

78 「住んでいてよかった」、「住み続けたい」と思ってもらえるよう、市民に向けて行うプロモーションのこと

79 「行ってみたい」、「住んでみたい」と思ってもらえるよう、市外に向けて行うプロモーションのこと

80 その地域に訪れる（交流する）人のこと

81 富士見市に住んでいる「定住人口」や、「交流人口」に当てはまらない、地域や地域の人々と多様に関わる人のこと

82 液晶ディスプレイやLEDなどを用いたデジタル映像機器を使い情報を発信するシステムのこと



## 関連するSDGsゴール



新たな人の流れを創出し、地域の賑わいを創出します。  
関連ターゲット (8-9)



富士見市の産業の多様化や付加価値創造に取り組みます。  
関連ターゲット (9-b)



産官学民の連携により効果的なプロモーションに取り組みます。  
関連ターゲット (17-17)

## 関連部署

総務部 秘書広報課  
政策財務部 シティプロモーション課  
経済環境部 産業経済課、農業振興課



富士見市 PR パンフレット(移住・定住ガイド)



分野29 危機管理

基本政策38 災害に強いまちと感じることができる

災害から市民の生命・財産を守るため、自助及び共助の、より一層の促進を図るとともに、公助のさらなる充実を図り、防災力を高めることで、安心して暮らすことができ、市民が災害に強い“まち”と感じることを目指します。

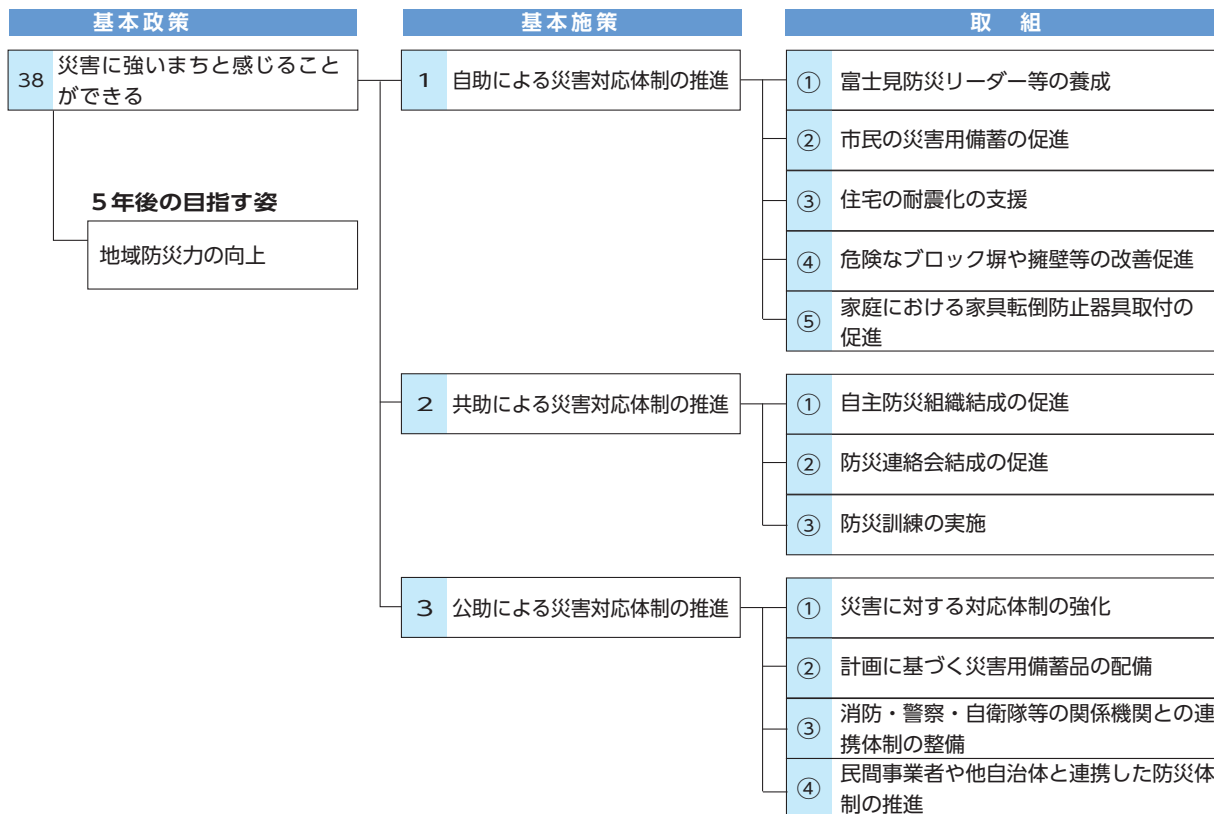
5年後の目指す姿

「地域防災力の向上」

「自分の命は自分で守る」という自助、「近所や地域の方々と助け合う」という共助、公的な支援による公助のそれぞれを充実させ、災害に対する不断の備えを主体的に進める地域防災力の向上を目指します。

数値目標	現状値	目標値
地域防災力の向上に対する満足度（市民意識調査）	50.0%（H30）	70.0%（R7）

【ロジックモデル】



## 基本施策

### 38-1 自助による災害対応体制の推進

「自分の命は自分で守る」ことを目指し、防災に対する正しい知識と危機意識を持ち、個人や家庭などにおいて災害の備えを十分に行うなど、自助による災害対応体制を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	3日分以上の災害用備蓄をしている人の割合 (防災アンケート)	22.2% (H29)	50.0% (R7)

【主な取組】富士見防災リーダー<sup>83</sup>等の養成  
自助による災害対応を推進するため、防災知識に精通した地域の防災活動を担う富士見防災リーダーを養成します。

【KSF】	現状値	目標値
富士見防災リーダーの養成者数	延べ 125 人 (R1) ⇒	延べ 165 人 (R7)

### 38-2 共助による災害対応体制の推進

「近所や地域の方々と助け合う」ことを目指し、学生などの若年層から高齢者まで地域全体で、共に助け合う意識や災害対応力を向上させるなど、共助による災害対応体制を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	防災訓練の参加者数 (延べ人数)	9,811 人 (H30)	17,000 人 (R7)

【主な取組】自主防災組織結成の促進  
地域防災力の向上を目指し、災害に備え、地域で協力して災害対応が図れるよう、自主防災組織の結成を促進します。

【KSF】	現状値	目標値
自主防災組織の組織率	75.8% (R1) ⇒	100% (R7)

#### 脚注

83 「富士見防災リーダー養成講座」を修了し、地域における防災知識の普及や、防災活動の先頭に立って活躍をしている市民の方





### 38-3 公助による災害対応体制の推進

災害に対し万全を期すため、各種計画に基づく災害対応体制を構築するとともに、計画等について市民への浸透を図るなど、公助による災害対応体制を推進します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	富士見市防災ガイドブックの認知度 (防災アンケート)	—	75.0% (R7)

【主な取組】計画に基づく災害用備蓄品の配備  
 災害に備え、迅速かつ適切な災害対応が行えるよう体制及び設備の強化を図るとともに、備蓄計画に基づき計画的に災害用備蓄品を適所に配備します。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
備蓄計画に定めた食糧備蓄に対する充足率	79.5% (R1)	⇒ 100% (R7)

### 関連するSDGsゴール



自助・共助・公助を推進することにより、人の命・財産を守るとともに、総合的な災害リスクの管理を行います。 **関連ターゲット (11-5、11-b)**



様々なパートナーシップを推進し、経験や知識、技術を共有し、災害リスクの軽減に向け協力していきます。 **関連ターゲット (17-16、17-17)**

### 関連計画等

富士見市地域防災計画

### 関連部署

危機管理課





総合防災訓練





分野29 危機管理

基本政策39

様々な危機事案の予防と被害抑制により  
安全安心なまちで暮らすことができる

地震や水害といった災害のほか、武力攻撃事態や様々な市民の危機に対する予防と被害抑制のための対応体制を確立し、より安全安心に暮らすことができる“まち”を目指します。

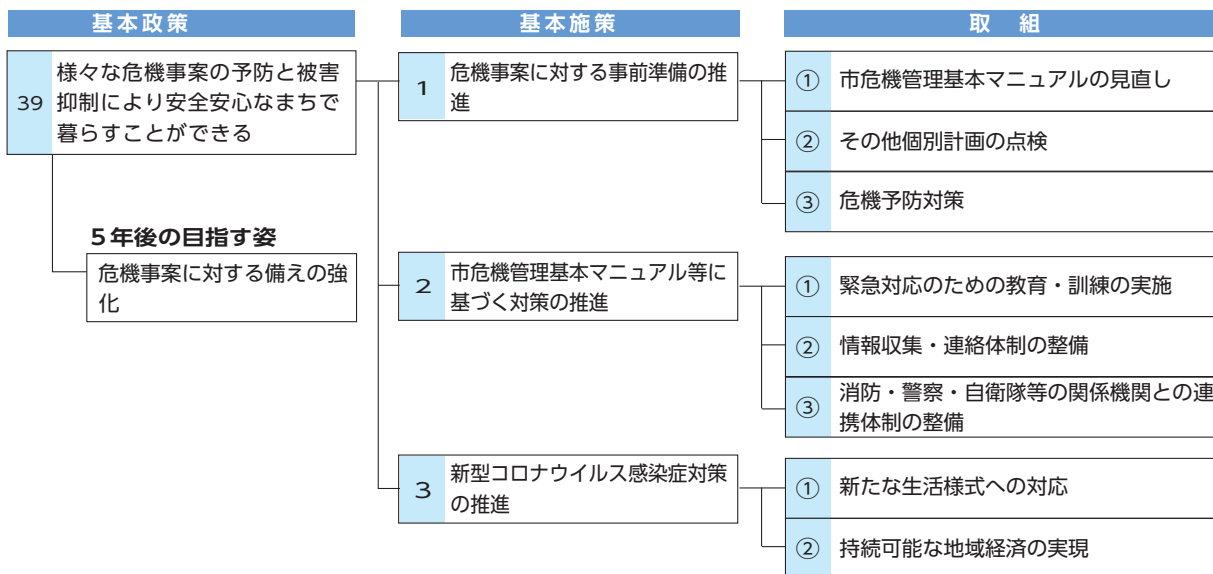
5年後の目指す姿

「危機事案に対する備えの強化」

様々な危機事案を想定し、国や県の計画に基づいた市の計画等を整備することにより、迅速な対応ができるよう、危機事案に対する備えを強化します。

数値目標	現状値	目標値
国・県の計画・指針に対する市の計画の充足率	100% (R2)	維持 (R7)

【ロジックモデル】



## 基本施策

### 39-1 危機事案に対する事前準備の推進

様々な危機事案に対応するため、事案ごとに個別の対応マニュアルを作成するなど、事前準備を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	危機事案別の個別マニュアル整備割合	—	100% (R7)

【主な取組】市危機管理基本マニュアルの見直し  
時代に即した「市危機管理基本マニュアル」となることを目指し、内容を定期的に点検し、市の体制や情勢等を踏まえ、適時見直しを行います。

【KSF】	現状値	目標値
市危機管理基本マニュアルの点検	— ⇒	実施 (R7)

### 39-2 市危機管理基本マニュアル等に基づく対策の推進

市の施設の管理や行事等を行う上で発生しうる危機要因を排除するため、計画管理や利用時の安全点検を実施し、訓練や予防対策など市危機管理基本マニュアル等に基づく対策を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	想定される危機に対する予防対策の実施割合	100% (R2)	維持 (R7)

【主な取組】消防・警察・自衛隊等の関係機関との連携体制の整備  
危機事案に備え、関係機関と迅速な対応が図れるよう、平時から消防・警察・自衛隊等と連携した訓練を実施するなど、関係機関との連携体制を整備します。

【KSF】	現状値	目標値
関係機関と連携した訓練実施回数	1回/年 (R1) ⇒	2回/年 (R7)



### 39-3 新型コロナウイルス感染症対策の推進

新型コロナウイルス感染症の拡大防止と、新しい生活様式に対応した社会基盤の形成に取り組むとともに、コロナ禍においても持続可能な地域経済の実現を目指します。


	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	感染症に対応して生活している市民割合 (web アンケート)	96.4% (R2)	100% (R7)


【主な取組】 新たな生活様式への対応


感染拡大防止対策など社会環境の整備を進めるとともに、情報通信技術などを活用することで、安全で魅力あるライフスタイルの確立に向け取り組みます。


【KSF】	現 状 値	目 標 値
3 密対策に向けた支援の実施	—	⇒ 実施(R7)

## 関連するSDGsゴール

- 

地域の事業者や雇用者を守り、経済的成長を継続できるよう、経済支援に取り組めます。 **関連ターゲット (8-1)**
- 

すべての人が安心した日常生活を送れるよう、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラ整備などに取り組めます。 **関連ターゲット (9-1)**
- 

人の命・財産を守るとともに、総合的な危機事案に対するリスク管理を行います。 **関連ターゲット (11-b)**
- 

様々なパートナーシップを推進し、経験や知識、技術を共有し、危機の軽減に向け協力していきます。 **関連ターゲット (17-16、17-17)**



## 関連計画等

富士見市国民保護計画  
富士見市危機管理基本マニュアル  
富士見市業務継続計画

## 関連部署

危機管理課  
健康福祉部 健康増進センター  
その他全部署



分野30 総合行政

基本政策40

市民の役に立つ所になる

基本構想に掲げる理想の“未来”の実現に向け、市民が「富士見市に住んで良かった」と感じることができ、充実した日々を送ることができるよう、市民の視点に立ったサービス提供を総合的に推進し、市役所がその名のとおり、市民の役に立つ所となることを目指します。

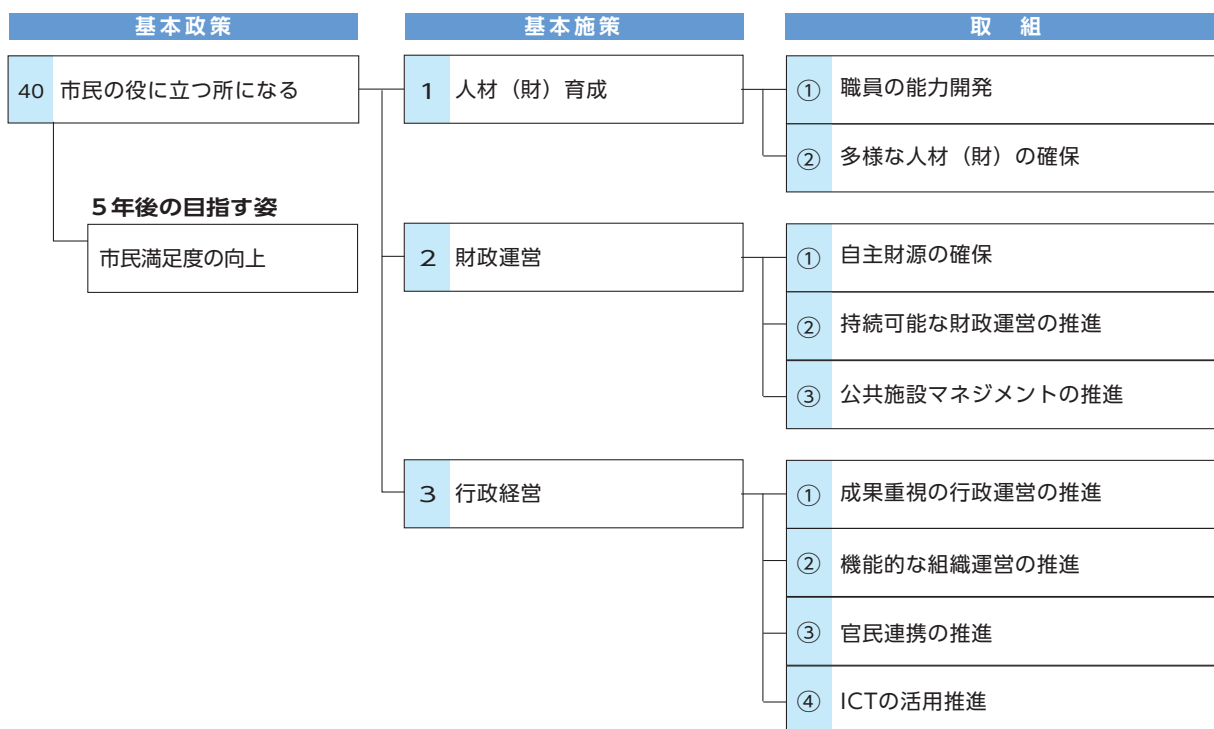
5年後の目指す姿

「市民満足度の向上」

市民ニーズを的確に把握し、社会情勢の変化に迅速に対応していくことで、個人の暮らしや人とのつながりを充実させるとともに、生活環境の向上と市の成長を促進させ、市民満足度の向上を目指します。

数値目標	現状値	目標値
行政運営に対する満足度（市民意識調査）	—	75.0%（R7）

【ロジックモデル】



## 基本施策

### 40-1 人材（財）育成

質の高い行政運営を行うため、市民に信頼され、期待される人材（財）の育成を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	職員の対応や印象等に対する肯定的評価の割合 (市民意識調査)	—	75.0% (R7)

#### 【主な取組】 職員の能力開発

各種職員研修や、人事評価制度を通じた職員の育成などにより、改善意識やコスト意識を持ち、市民福祉の増進に向け、実行できる人材（財）を育成します。

【KSF】	現状値	目標値
1年に1回以上研修受講する職員の割合	73.1% (R1)	⇒ 80.0% (R7)

### 40-2 財政運営

安定した市政の運営ができるよう、「富士見市健全な財政運営に関する条例」に基づいた財政規律の維持・向上に努めるほか、人口減少などにも対応した公共施設マネジメントを推進することで、健全な財政運営を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	実質収支比率 <sup>84</sup>	3.3% (R1)	3.0～5.0% (毎年度)

#### 【主な取組】 自主財源の確保

弾力的な財政構造の構築を図るため、自立的な税収基盤の整備を推進するほか、使用料・手数料の適正化や効果的な基金の活用など、自主財源の確保に努めます。

【KSF】	現状値	目標値
自主財源比率 <sup>85</sup>	52.2% (R1)	⇒ 55.0%以上 (R7)

#### 脚注

84 自治体の財政規模に対する収支の割合。収支が黒字ならば正の数、赤字ならば負の数になる

85 収入総額に対し、自主財源の占める割合のこと



### 40-3 行政経営

機能的な組織による計画的な行政運営を実現するとともに、市民や企業、NPO などとの連携推進や ICT の活用など、柔軟で実行力のある行政経営を推進します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	第6次基本構想・第1期基本計画におけるKPIの達成率	—	90.0% (R7)

**【主な取組】 官民連携の推進**

多様化する市民ニーズに適切に対応していくため、民間事業者のノウハウや資金のさらなる活用、新たな連携手法の導入など官民連携の推進に取り組みます。

	【KSF】	現 状 値	⇒	目 標 値
	新たに外部の力を活用した事業数	—		22 件 (R7)

### 関連するSDGsゴール



情報公開などに努め、市民が行政活動を知ることができ、コンプライアンスの推進など、信頼できる行政運営を進めます。 **関連ターゲット (16-6)**



富士見市の理想の“未来”の実現のため、市民、企業、NPO に加え、国や県など、多様な関係者との連携を進めながら行政運営を進めます。 **関連ターゲット (17-17)**

### 関連計画等

- 富士見市第7次行財政改革大綱（令和3年～令和7年）
- 第2期富士見市キラリと輝く創生総合戦略（令和3年～令和7年）

### 関連部署

- 総務部 総務課、職員課、公共施設マネジメント課
- 政策財務部 政策企画課、財政課、ICT 推進課
- 市民部 税務課、収税課





市民ワークショップ





